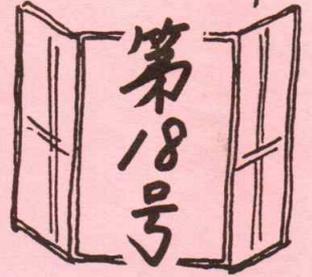


あなたがあなたでいるために



アモルファス

アモルファスとは英語で amorphous と書き『きまっただけの形がない』とか『整っていない』とかいう意味です。今は混沌としているものが、いつか何かの形で結晶となることを願って名づけました。

発行 1996年12月1日
企画 ライフ・ステップ・サークル
編集者 内海 和子
TEL 0280-87-1032
住所 茨城県猿島郡境町1677-3

電車の中から

娘と二人 走る電車の中

窓の外を流れるのは

いつも通りのゴミゴミした下町の風だ

このガードの下の道を駅まで

毎日通い続けたあの頃

不幸ではなかったけれど

ただ過ぎてしまったただけの青春を

思っ唇をかむ

「ねえ、こんな狭い東京で地震がおきたらどう

するの？」

突然の娘の問いに

「そうねえ、死んじゃうかもね」

ちよっとおどけながら言う

「でも、一生懸命逃げようよ」

真剣な顔で見上げる幼い娘に

とまどい、窓の外を見ると

東京の空は思いがけず

青く広がっていた

さくら風子



目覚めよう、女性たち

館野あさ子

私は、子供の頃より男尊女卑という封建的因習に、大変な不満と怒りを感じていました。しかし、それを持って行く場もなく、これまでどれ程悔しい思いをして来た事でしょう。今回、周りの友人たちから町議選出馬の薦めがあった時、平凡な主婦である私が決断してしまったというそのエネルギーは、そのうっせきしていた不満が爆発したものなのです。今は、男女平等が当然の如く言われている時代ですが、よく社会を直視してみると、現実はそれとはまだまだほど遠いものです。昔とは違い、高等教育を受けていて、自由で、しかも先進国である筈の日本の女性の地位が何故、世界で百四十位(女性議員の占める割合でいうと)という、信じられないような低さなのか。その最たる原因は、社会制度というよりも女性自身の意識の低さにあると思うのです。長い間押さえ付けられてきたせい、自分で立上がり、行動する権利と義務がある事を忘れて(あるいはあきらめて)しまっている。

私は(おこがましいのですが)女性たちに『目覚めよ、そして立上がり行動せよ』と訴えたい。そして、今の日本の社会がそれを必要としている事に気づいて欲しいのです。

(総和町議会議員)

